



みだっ子 NO8

がっこうきょういくもくひょう 学校教育目標

こころゆた ちからあか じつこうりよく
心豊かで、明るく、実行力
のある子の育成

<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp./esmida/>

TEL385-0506

FAX 385-0815

ぜんがくねん たいいよく とく 全学年で、体力テストに取り組みました！

5/25 (火) 1・2限目、体力テストをしました。運動場では、ソフトボール投げと立ち幅跳びを、体育館では反復横跳びと握力の測定をしました。ソフトボール投げでは40m超え、立ち幅跳びでは170cm近い記録も出ました。気持ちのいい五月晴れの中、それぞれの種目でしっかり力を出しきってくれました。

本校では、毎年、全学年で体力テストに取り組んでおり、前年度に比べて自分の記録がどれくらい伸びたか、成長を確認することで、運動能力や体力向上への意欲を高めています。

いわゆる「生きる力」を育てていく上では、知(確かな学力)・徳(豊かな心)・体(健やかな体)のバランスが大切であり、体力テストは、子どもたちの健やかな体を育てる上で重要な取り組みと捉えております。



さまざま がっこうしえん かんしゃもう あ 様々な学校支援に感謝申し上げます

梅雨入りに伴い、校舎敷地の雑草や木々の枝葉が気になる時期となりました。県下に出された「まん延防止等重点措置」のため、予定していたPTA奉仕作業を中止せざるを得なくなり、6/12 (土)の除草作業は、PTAの役員さんや学校運営協議会の皆様のサポートを得て、有志成行ないます。このような中、地域コーディネーターの小林さんのご親族の方に、体育倉庫横の樹木剪定をしていただき、子どもたちの外遊びの環境を良くしていただきました。有難うございました。

また、フラワーアレンジメントのクラブ指導員でお世話になっている杉本さんには、玄関に素敵なお花を生けていただき、来校者からご好評をいただいております。コロナ禍の中ですが、様々な方々からご支援を得て、子どもたちにとって、より良い学習環境となるよう取り組んでおります。今後ともよろしくお願ひします。



～ みだしょう こうか 箕田小の校歌 ～



作詞 佐佐木信綱

一

広き心を示しつつ
東に続く伊勢の海
高き姿の雄々しくも
西に連なる鈴鹿山

二

箕田に堀江に林崎
七つの字のむつまじく
耕すわざにすなどりに
人みな励むわが里よ

三

規律正しく勤勉に
心を保て快活に
わが校訓をまもりつつ
日ごとに積むや教え草

校歌の歌詞を読んでいて、「七つの字」に目がとまりました。現在、箕田地区は11自治会だけど、昔は七つの村だったのだろうか？その七つとは？

そこで、学校の年表にあたる学校沿革史で調べてみました。

沿革史の一行目には、次のような記述がありました。七つの字は、七つの村を指すのでしょうか？

七つの字について、ご存じの方は教えてください。

明治8.12

中箕田、南北堀江、下箕田の四ヶ村で箕田学校、林崎、南林崎、上箕田の三ヶ村で林崎学校を設立

箕田小学校の校歌は、「夏は来ぬ」という唱歌で有名な佐佐木信綱さんが作詞されています。作詞にあたり、信綱さんは、この箕田の地を訪れ、東に広い伊勢湾、西に雄大な鈴鹿山脈を目にしたのでしょうか？そして、美しい自然に恵まれたこの地で、子どもたちがしっかりと学び、心身も鍛え、明るく元気に成長していくことを願って作詞したのではないのでしょうか？などと想像をふくらませて、校歌を口ずさむのでした。

～ 佐佐木信綱（敬称略） ～

佐佐木信綱は、鈴鹿市に縁のある文学者で、明治5年に現在の鈴鹿市石薬師町に生まれ、6歳まで同町で過ごしました。5歳から万葉集（奈良時代に作られた最も古いとされる和歌集）の暗誦をはじめ、13歳で東京帝国大学（現在の東京大学）に入学し、万葉集の研究に取り組みます。25歳の時に唱歌「夏は来ぬ」を作詞し、34歳で同大学の講師を務め、66歳の時に第1回文化勲章を受章しています。現在、石薬師町には信綱を紹介する佐佐木信綱記念館があります。

～ 『夏は来ぬ』 ～

うの花の におう垣根に ホトトギス 早やも来鳴きて
しのびね もらす 夏は来ぬ

